

日本核酸医薬学会レギュラトリーサイエンス部会
サテライトシンポジウム 2018

核酸医薬開発の現状と課題 -原料供給・製造・品質担保の観点から-

【日時】 2018年12月11日(火) 13:00-17:30 (12:00開場)

【場所】 千里ライフサイエンスセンター (大阪)

<http://www.senrilc.co.jp/access/index.html>

【定員】 300人(先着順), 参加費無料

【主催】 日本核酸医薬学会レギュラトリーサイエンス部会

【登録】 参加申し込みURL: <https://ssl.form-mailer.jp/fms/addc371d593105>

当日は登録完了メールを印刷してご持参頂き、受付にご提出下さい。

プログラム

【はじめに】 13:00 - 13:05 小比賀 聡 (大阪大学)

【来賓挨拶】 13:05 - 13:10 新階 央 (経済産業省)

【講演1】 13:10 - 13:35 井上 貴雄 (国立医薬品食品衛生研究所)
「核酸医薬品の規制整備の現状と課題」

【講演2】 13:35 - 14:00 伊藤 浩介 (医薬品医療機器総合機構)
「核酸医薬品の開発における品質担保」

【講演3】 14:00 - 14:25 関口 光明 (塩野義製薬)
「架橋型核酸 AmNA アミダイトの効率的合成法の開発」

【講演4】 14:25 - 14:50 竹宮 明広 (田辺三菱製薬)
「架橋型核酸 GuNA モノマーの新規効率的合成法の開発」

(休憩) 14:50 - 15:05

【講演5】 15:05 - 15:30 片岡 正典 (神戸大学)
「Blockmer で拓くオリゴヌクレオチド原薬の製造技術」

【講演6】 15:30 - 15:55 南海 浩一 (ジーンデザイン)
「オリゴ核酸の大量製造プラットフォームと分析事例の紹介」

【講演7】 15:55 - 16:20 三木 崇 (住友化学)
「住友化学の核酸医薬製造」

(パネル準備) 16:20 - 16:30

【パネルディスカッション】 16:30 - 17:15 (最長 17:30 まで)

モデレーター: 小比賀 聡, パネリスト: 講演者全員

【問い合わせ先】

大阪大学大学院薬学研究科生物有機化学分野内 小比賀教授室
事務局 亀岡 千寿子

E-mail: kameoka@phs.osaka-u.ac.jp

TEL: 06-6879-8200